

4. 南関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (南関東)	良くなる	一般レストラン（経営者）	・ 憶測も含んでいるが、2、3か月先というと暮れの12月が迫っているため、飲食業者にとっては大変良い月であり、景気は良くなるかと考えている。12月はクリスマスも控えているため、書き入れ時である。
		観光名所（職員）	・ 2、3か月後というよりも、観光地は11月にトップシーズンを迎えるため、来月が今年よりも十分良くなるかと期待している。
	やや良くなる	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・ 季節的にも良くなってきたため、これから外出する人たちも多くなり、景気は少し良くなると思って、やや良くなる。
		一般小売店〔文房具〕（経営者）	・ 毎年のことであるが、11月になると年賀状の印刷が始まる。年々、年賀状の印刷が減ってきているが、やはり当業界ではどうしてもこれが中心になって動いている。
		スーパー（店長）	・ 3か月後はちょうどお正月である。お正月の景気が悪いということは年末商戦が非常に厳しい結果になってしまう。そのため期待を込めて、やや良い。
		衣料品専門店（店長）	・ 冬に向けて、来客数が増加しそうである。
		その他小売〔ゲーム〕（開発戦略担当）	・ 例年以上に盛り上がる期待感は、残念ながら持てないが、サンクスギビングから12月は現在より良くなるのは明らかである。
		旅行代理店（従業員）	・ 2、3か月先の先行の状況で、特に職場旅行が復活している。
		旅行代理店（営業担当）	・ 売れ筋商品の販売が好調である。
		タクシー（団体役員）	・ 業界にとって年に1度の繁忙期である。景気が良くても悪くても年末に向かい人の動きはあると期待する。
通信会社（経営者）		・ 日中問題等も落ち着きを取り戻し、消費も少しは上向く。当社はケーブルテレビの会社であるが、地上デジタル放送化の終了とともにテレビの需要が落ち込んだ前年に比べて、少し回復基調である。	
住宅販売会社（従業員）	・ 消費税増税の駆け込み需要が、そろそろ始まりそうである。		
変わらない	商店街（代表者）	・ 今年の夏は気候の影響もあり、あまり良くなかった。当地域に限ると明るい兆しのほうが多いのだが、世の中のマインドが少し元気がなく、手放して良くなるとはいえない。	
	商店街（代表者）	・ 政権交代にやや期待はするが、収支バランスを欠くばらまきには賛同できない。そのようななかで有効な次の一手は望めるのだろうか。	
	商店街（代表者）	・ 現在の様子では、とにかく職場に来なくてもいいという状態になることが大変多くなっているため、皆、心配している。特に女性の場合はその傾向が強く、皆そういうふうに言われた場合、次に行く所がなかなか簡単には見つからないため、大変心配しながら無理をして働いている。	
	商店街（代表者）	・ 今後、やはり客の懐具合も非常に厳しいということで、一層、価格競争が厳しくなってくるのではないかと思う。良くなる材料がないため、非常に危機感を感じている。	
	一般小売店〔和菓子〕（経営者）	・ 大口の注文が徐々に増え始めているものの、まだまだ良くなる要素が見当たらないため、それほど売上も伸びていかない。	
	一般小売店〔家電〕（経理担当）	・ 年末商戦になるが、良くなる理由が見当たらない。積極的に顧客訪問をしていくつもりである。待ちの商売でないので行動できるのが幸いである。	
	一般小売店〔印章〕（経営者）	・ 非常に環境が厳しいと思う。また、環境が改善されてもなかなか耐久消費材を買うような状況ではなく、非常に残念な経済環境である。	
	一般小売店〔家電〕（経営者）	・ 国内、海外を問わず、政治、経済いずれも暗いニュースが大半を占めているため、将来も暗いと思う。	
	一般小売店〔文具〕（販売企画担当）	・ 客から聞く話として、やはり政治がある程度安定しないと商品を買うに買えないと言っている。また役所関係では、予算が本当に底を尽きそうなたため、実際もう買えないのではないかとこのようなことも出てきている。このあたりがあまりにも不明瞭で、政治がある程度決まらないことには、国会審議の状況によっては、今後の景気が上向きになるのか下向きになるのか全く分からない。	
	一般小売店〔茶〕（営業担当）	・ 最近お茶の売出しがあり、個人客への販売量は今までよりも多少良くなってきているが、法人への販売量は前年同月比で、いまだマイナスである。黒ウーロン茶などの商品が健康ブームにより、最近売上を伸ばしているが、福利厚生が増大が見込めない限り、景気はあまり変わらない。	

百貨店（売場主任）	・国内外の政治の不安定さや株価の低迷、円高の継続が予想されるため景気上昇は見込めず、消費の関心度が上がらない。
百貨店（総務担当）	・大きく良化する材料が見当たらず、苦戦が続くと思う。デイリーの買物である食料品を中心に販売力の強化を行い、来客数を増やす動きをしていく必要がある。
百貨店（営業担当）	・平年と比べると気温の高い日が多く、秋物及び防寒衣料の動きが鈍かった。また、中国情勢をはじめとした内外の外交及び経済情勢も影響して、必要以上の買物を控える傾向が強くなり、客数、客単価とも前年を下回る結果となった。
百貨店（営業担当）	・政治が不安定なうえに、今後の景気対策が全くないためである。
百貨店（販売促進担当）	・月央から若干良くなっているが、不確定要素が多すぎて、ここ2、3か月先というのが不明な状態である。
百貨店（販売促進担当）	・今後の歳暮、クリスマスギフト商戦で、説得力のある上質ギフトで購買意欲を高めるか、遅れたアウトター動向を取り戻すか、また代替アイテムで伸長させる提案施策で、悪化傾向に歯止めを掛けたい。
百貨店（販売管理担当）	・来月以降、最大のモチベーションであるクリスマス、年末年始商戦を迎えるにあたって、客の購買意欲に目立った減退要素は見られない。しかし、混迷する政局に伴う景気刺激策の継続性への不安や、消費税増税を見据えた客の動向の不透明さが払しょくされないため、現状と大きくは変わらない。
百貨店（営業企画担当）	・天候、気候にも左右されるが、大きく改善されるような兆しはみられない。
百貨店（営業企画担当）	・2012年3月度より前年売上を下回っており、売上不振となっているためである。
スーパー（経営者）	・今月の状態を見ると、何かもっと悪くなるのではないかという気もする。そうならないために、いろいろ頑張っているが、8月末から9、10月へと非常に厳しくなっている。今月が悪いため、2～3か月先も悪い状態が変わらない。
スーパー（店長）	・この先2、3か月後になると、本来なら冬の寒さが厳しくなるが、この暖冬傾向が続くそうなので、やはり衣料品、住居関連品の商品の動きが鈍くなりそうである。さらに、今後に向けた明るい材料があまり見られないことで、客の買い控えはまだ続く。
スーパー（店長）	・今が底の状態だとは思いますが、世間の節約志向は相変わらず続いており、単価を上げていくような商売はできないうえに、単価を下げて必要以上には買わない状態である。なおかつ、業界でもこれから年末までは毎年厳しい状態が続くため、しばらくは同じような状態が続く。
スーパー（店員）	・客の買物動向として、曜日別や企画別で店を買い回る傾向が見られる。また客数は増えているが、客単価、買上件数が大きくマイナスとなっている。この動きは継続して変わらない。
スーパー（総務担当）	・月末にきて気温が下がってようやく動き出したが、月間としてはあまり良くない。今後も大きな売り出し等については客が来るが、それ以外については来ないという傾向が続く。
スーパー（営業担当）	・これから気温の低下に伴って、季節商材の稼働は見られるが、ベースにはやはり将来への不安を抱えた財布のひもの固さがあるため、上昇傾向にはいかない。
スーパー（仕入担当）	・政治や景気も安定せず、不安な年末を迎える家庭が多くなり、必要な物だけを買う消費の低迷は続く。
コンビニ（経営者）	・客の消費を見ていると、何らかの形で経済政策、減税などあるとすれば景気は上向くと思うが、今のところは横ばいとしか判断できない。
コンビニ（経営者）	・セール頼りの状況が続き、客も安価な買得品に集中している。かろうじて良質なプライベートブランド商品の売上等でバランスをとる傾向はますます強くなり、売上の伸びは現状維持が精一杯である。
コンビニ（経営者）	・客数が減った理由ははっきり分かっており、また、近隣のそれ以外の来客やその他に関しての状況は変わらないため、ある程度客数が減ったら、これからはまた安定はしていく。
コンビニ（店長）	・客の動きをよく確認しながら、当店がどこに役立っているのかを観察して、しかもそれを現場に活かし続けるしか方法はない。
コンビニ（商品開発担当）	・上向きの兆しとなるものが見られない。
衣料品専門店（経営者）	・天候に左右される商売だが、他に税金が上がる、収入は減るとなると消費はおのずと控えてくる。しばらくは景気の回復は望めない。

衣料品専門店（経営者）	・当店では高齢者、特に50代以降の客が多いのだが、出掛けるなど消費は活発である。気温が下がり、行楽に向かっていく良い時期になると消費が伸びる。
衣料品専門店（経営者）	・例年に比べ10%前後の落ち込みが数か月続いている現状で、先行きが予想できない。
家電量販店（統括）	・第3四半期の見通しでプラスが見込めるカテゴリーは調理、家事、白物家電のみである。年末商戦から正月にかけて期待薄である。
乗用車販売店（経営者）	・整備は順調に入っているが、販売はあまり芳しくない。エコカー補助金が終わり、前月より3割減となっている。年内はあまり変わらない。
乗用車販売店（経営者）	・特別な対策がないため、消費者の購買意欲が湧かない。
乗用車販売店（販売担当）	・衆議院の解散や政局自体が安定しておらず、何も決まらない。また、東北の復興事業についてもやはり遅れているなかで、今後についてはまだまだ変わらない。また民主党が出している箱物に対しての投資はしない、人に投資する、ということのなかで大型の投資などが減ってきているため、トラック事業も大きく低迷している。よって年内については状況は変わらず、逆に悪化する可能性もあると思う。ただし、選挙後どの政党になるかによって環境が変われば、景気の回復も大きく変わっていく。
乗用車販売店（店長）	・国政の不安定、それを取り巻く外交の不安定、また日銀の金融緩和や、ここへきて10月から任意保険の保険制度が変わり、客の足踏みが非常に懸念される。
住関連専門店（店長）	・状況が一変するような、施策、政治、イベント、気象は考えられない。
その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・販売促進でまだ盛り上げられるため、年末商戦で盛り上がりを作っていく。
その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・気候も寒くなってきており、秋冬物が動いている。その他は、あまり大きく変わる要素はない。
高級レストラン（店長）	・年間を通して一番の繁忙時期である忘、新年会シーズンである。予約状況は前年とほぼ同様の状況である。
一般レストラン（経営者）	・個人店に代わりチェーン店が増えている表通りの影響が、良くも悪くも出ている。
一般レストラン（経営者）	・これから飲食店としては、年末年始にかけて、売上が上昇する時期だが、前年を超えることはないと思う。
一般レストラン（経営者）	・全体的に消費は弱含みだが、衆議院の解散や政権交代など、商売人にとっては若干良くなるという期待感が出てきているため、その分、下支えをしてくれる。
一般レストラン（店長）	・当店はサラリーマン主体の店なのだが、サラリーマンがどこを一番最初に節約するかというと、やはり帰りに飲んで帰るのをやめよう、少しお昼にお金を使うのをやめようというところに出てくるようで、大変影響しており、恐らく春まで当店は続かないのではないかと思っている。
都市型ホテル（スタッフ）	・結婚披露宴の予約状況が今時点で前年比で大変弱くなっており、来客数も増えておらず、良くなる見込みはない。
都市型ホテル（スタッフ）	・年末年始を迎え、1年で一番忙しい時期となり、忘年会や新年会、イベントなどの販売状況は例年並みに推移している。ただし、月内での販売量の伸びが、例年に比べ鈍い状態がここ数か月続いており、予断を許さない状況である。劇的な変化はない。
旅行代理店（支店長）	・国内旅行は12月、1月とも東京スカイツリーの団体が多いため良いが、その半面、海外旅行は中国等の問題で非常に落ち込みが続いている。その時期は例年、海外旅行の比率を上げてきているため、双方の相殺ということだと現状と変わらない。
通信会社（経営者）	・11月末より新商品の販売が開始されるが、需要が予測できておらず、当面販売の工夫が必要である。
通信会社（経営者）	・デフレが続き、より安いものを選択するという傾向は変わらない。
通信会社（社員）	・政局も不安定で気持ちが上がらない。良くなる要素が思い当たらない。
通信会社（営業担当）	・国内外の経済環境は不透明であり、それを改善する政策もなく、消費者は景気の見通しを静観して消費を控えているようである。
通信会社（営業担当）	・良くなる材料が見当たらない。
通信会社（局長）	・緩やかながら業界として改善基調にあるものの、携帯ビジネスの特需が長続きするとも思えず、2、3か月で変わるとは思えない。

	通信会社（営業担当）	・セット割も含め安価なサービスが受け入れられる傾向が続く。
	通信会社（局長）	・この政治の状況が続くなら景気は良くなることはない。消費税増税をしなくては国が潰れるようなことになるため、すべきだが、しばらく景気が冷え込む可能性は否めない。
	通信会社（営業担当）	・他社との競合が激しくなっており、大きな回復は見込めない。
	パチンコ店（経営者）	・なかなか客の懐が厳しいこともあり、またデパートなどが何か月もずっと前年割れをしているように、客が遊ぶとしても単価の安い場所、そういうコーナー、店で、あまりお金を使わない傾向が強くなってきているため、なかなか厳しい。希望的観測を入れて変わらない。
	その他レジャー施設 〔スポーツ施設〕（支配人）	・個人の消費マインドが上向かなければ販売量の動向に変化が見られない。それにはデフレ経済を抜本的に打開する策を早期に進めるべきである。
	その他レジャー施設 （経営企画担当）	・年末年始の催事は順調に予約があり、安定した来客数が期待できる。ただし、景気の減速により、消費単価の変動がどこまで起こるか予測しかねる部分もあるため、変わらない。
	その他サービス〔立体 駐車場〕（経営者）	・10数か月、来客数が減る一方であるため、悪いまま変わらない。
	設計事務所（所長）	・政治が大きくうねり出している感はあるが、動き出したとしてもかなり先だと思いため、このまま悪い状態が当分続く。また建築は、話が出てから6か月から1年後に実を結ぶため、数年掛かる。
	設計事務所（職員）	・設計業務のなかで、医療福祉施設は比較的安定して業務が発注されるが、受注に結び付く案件が小型である。
	住宅販売会社（従業員）	・11、12月は客の動きが鈍くなるため良くはならないが、人気エリアでの物件を増やして、高回転で販売していければうまく推移していく。販売価格の設定が重要になってくる。
	住宅販売会社（従業員）	・例年、年末、年度末に向かい客の動きが出てくるが、その他に景気が変わりそうな理由が見当たらないため、変わらない。
	住宅販売会社（従業員）	・まだ年内は状況は変わらないと思う。住宅展示場や各種イベントの集客状況をみても横ばい状態である。
	その他住宅〔住宅資 材〕（営業）	・例年10月以降は建材関係の荷動きが活発で、今期も好調のようである。ただし、更に先を考えると、建材以外の需要は伸びていないため、厳しい。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・やはり中国との問題が非常に敏感に反応している。給料が減らされるのではないかと、また先行きが全く見えない、政治がどうなるかが全く見えないという不安感、このあたりから消費者も今使わなくてもいいお金は当然だが、使うべきお金でも最小限にとどめておく状況に今なっている。
	一般小売店〔茶〕（経 営者）	・10月はお茶の売上も多少は上向いてきたが、客の中には商店街まで出掛けていくのが大変になってきたという様子もうかがえることから、厳しい状況は変わらない。
	一般小売店〔家電〕 （経理担当）	・主力で販売する物が少なく、販売価格が安いいため、回復するには時間がかかる。
	一般小売店〔祭用品〕 （経営者）	・近隣の商店も空きが目立ち、新規オープンでも客足はあまりないようである。
	一般小売店〔家具〕 （経営者）	・都営住宅の入居も終わると、また来客は減ってくると思う。やはりこれからまた悪くなっていく。
	一般小売店〔靴・履 物〕（店長）	・所得が増える見込みも全くなく、増えている特別な人達もいるだろうが、我々が相手にしている客を見ていると、全く増えず減っている状況であるため、景気が良くなるという話は全く出てこない。ますますひどくなると思う。また、政治が停滞しているため、非常に心配している。
	百貨店（総務担当）	・もともとこの長いデフレのなかで、今年度は消費税増税が決まり、欧州の信用不安は相変わらず改善されないまま、これに加えて中国と韓国の政治上の問題が起きてきており、それが時間が経たないままもう製造業に大きな影響を与えているということは、これから我々小売業に大きな打撃が来るのではないかと想像している。
	百貨店（総務担当）	・政治が機能していないなか、先行不安感が大きく、消費は伸びない。
	百貨店（広報担当）	・現状は、改装やセールなど多様な販売促進策で一定の反応はあるが思ったほどではない。今後は、クリスマスや福袋などのイベントもあり、スポット的には期待できるが、全体では国内政治の混乱による消費の心理的圧迫や、日中韓の問題などによる企業収益の悪化、ボーナス支給額の低下などが懸念され、消費に対する明るい話題は見えない。

百貨店（営業担当）	・政治、経済について見通しが立たず、マスコミ等の報道についてもネガティブなものが多く、その影響を受けて、消費行動を抑える心理が働いているように感じる。また気象の変化による環境の変化もあり、従来どおりの販売では、なかなか購買行動につながらない。現在も厳しい状況ではあるが、さらに悪くなる可能性が高い。
百貨店（営業担当）	・中国問題による商品調達や不買運動などの影響が懸念される。またクリアランスの時期が不確定であり、伸び悩む可能性が大きい。
百貨店（副店長）	・世界経済全体の減速、特に中国との関係悪化に伴う業績の下方修正や、国内では政局の混迷と衆議院解散総選挙などから、消費者心理が減退する。
コンビニ（経営者）	・11月上旬に、同チェーンの競合店が出店予定である。ドミナント化だと思うが、影響を受けるのは確実である。また、下旬にはスーパーも出店予定になっている。
コンビニ（経営者）	・競合店がどんどん増えているためである。
コンビニ（経営者）	・政局の不安から国家財政の窮乏が告げられている。それが実体経済など、いろいろな面に波及してくるのではないかと思う。そのため、今後はやや悪くなる。
コンビニ（エリア担当）	・景気指標が全てマイナス傾向なこと、また、株価や世界の景況感全体が下降気味なためである。
コンビニ（商品開発担当）	・消費の冷え込みにより、客単価の向上が見込めないなか、客数の減少にも歯止めがかかっていないため景気が回復に向かう材料に乏しい。
衣料品専門店（経営者）	・年末に近づいているが、それに向けて政治の混乱が続いており、円高はまだ続いている。国際情勢もあまり良くない状況のなかで、秋冬物がどれだけ動くか非常に不安である。
衣料品専門店（経営者）	・このまま秋がなく、冬の寒さに入ってしまう感じである。秋冬物共にプロパー期間が短く不安である。粗利益の確保と在庫及び仕入状況が予測しにくく、結果的に機会ロス等が生じ、売上低下が予想される。
衣料品専門店（店長）	・中国に生産拠点がある関係で、商品調達に若干の影響が出てくるため、やや悪くなる。
衣料品専門店（営業担当）	・復興特別所得税や消費税増税といった増税ばかりで財布のひもを結ぶだけの政策では、今後、中小企業がなくなるだけの世の中になってきているのではないかと。
衣料品専門店（営業担当）	・不況のため高級品の売行きが鈍い。また、高齢者の新規の買物は少ないようである。
家電量販店（営業統括）	・新製品の状況を確認しても、消費を持ち上げるだけの起爆効果を期待できる製品が少ない。この状況下でボーナス支給額が減少傾向に向かった場合、より消費を鈍らせる可能性があり、非常に危惧している。
乗用車販売店（販売担当）	・エコカー補助金も終了し、やや来客数も減ってきており、需要も減少気味であるため、やや悪い。
乗用車販売店（営業担当）	・エコカー補助金の反動減により、今の状態はこの先も続くと思う。暮れの歳末商戦に期待をするほかない。
乗用車販売店（総務担当）	・全体的に需要が落ち込んでおり、なかなかはい上がっていない。以前だと、新車効果で景気回復につながったが、今後は低迷が続く。
乗用車販売店（渉外担当）	・エコカー減税は継続しているが、エコカー補助金終了に伴い、販売、受注共、前年比を下回り景気は悪くなる。今回、補助金効果は山が少ない分、谷も少ないが、少なからず影響が出ている。
住関連専門店（統括）	・購買意欲をそそる条件等がなかなか見当たらず、買い控えが続いている。2、3か月先も、引き続き売上は伸び悩む。
その他小売〔雑貨卸〕（経営者）	・政府の景気対策が後手に回っているからである。
その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・全く改善する兆しにつながる要素もなく、今から年末商戦が不安である。
高級レストラン（支配人）	・比較的近い3月頃までの会合の受注状況が低調である。特に12月～1月が全く伸びておらず懸念している。中国と関係のある企業が、接待等でほとんど利用がない。
都市型ホテル（スタッフ）	・レストランのクリスマス、年末年始の家族の予約はこれから入るが、来店日の集中がさらに進みそうであり、売上の伸びない日が多くなりそうである。また婚礼は、新規のゲストハウスの出店はないが、新規カップルの来館が減少しており、この先の婚礼の取り込みが難しそうである。宿泊は周辺のイベント情報を早めにつかみ、インターネットを有効に活用して取り込みを図れば、落ち込みは少なく済みそうである。

都市型ホテル（スタッフ）	・政局の不安定さ、欧州の信用不安、経済危機がまだ続くと思うため、それが日本経済にも同じような悪い影響を与える。	
都市型ホテル（統括）	・中国、韓国、沖縄基地といった外交問題が解決できない状況では、国の経済に対する影響が計り知れない。	
旅行代理店（経営者）	・今現在のところは3か月先の予約というのがほとんどない状態のため、もしかしたらやや悪くなるのではないかと、何とも先行きが不透明な状態である。	
旅行代理店（従業員）	・冬場の国内団体旅行の動きが鈍い。特に沖縄等の温暖な地域への旅行需要が、例年になく減少している。	
タクシー運転手	・いよいよ年末に向けて、いろいろ慌ただしくなっている。しかし、やはり不安は乗り越えられそうもなく、不安は募ってきている。	
タクシー運転手	・ますます先が見えない。このままでは売上が見込めず、先々の生活にも不安を感じる。	
タクシー運転手	・今月は特に中国や韓国の観光客がかなり減っており、がらがらのような状態である。また政治も混乱しており、これから良くなる見通しが見つからない。	
通信会社（管理担当）	・3か月後は、例年販売量が落ち込むためである。	
通信会社（管理担当）	・販売量の上下限の変動幅が狭くなってきており、若干の下振れ傾向がある。	
その他レジャー施設 〔ボウリング場〕（支配人）	・企業の予約が激減している。他店との競合も要因としてあげられるが、景気が悪くやむなく開催を見送る企業が多く見られる。向こう2、3か月の予約状況から見ても、今後もしばらくは低迷が続く。	
美容室（経営者）	・とにかく客がお金を使わない。政治が悪いのではないかと思う。	
その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・10月からの入塾者数が、やっと前年と同じ数字である。	
その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・先月同様、地震の予測等、影響で遠くから通って来る小学生が辞めている。また、授業料を払うのが苦しいという理由で辞める生徒も徐々に多くなってきている。全体的に景気は悪化している。	
その他サービス〔福祉輸送〕（経営者）	・エコカー補助金の終了により受注が減ってきていること、また、中国関連を含めて、企業が景気の先行きに対して大分悲観的になっていること等を考えると、全体的な車の需要は若干落ち気味に推移する。	
設計事務所（経営者）	・現在の景気の状態がどうなるか予想もつかず、政治の混乱によるものではないかと思っている。今何をしたらいいのかが見えない。当事務所においても行政の仕事を受けているが、民間の仕事についてもまだ先が見えず、相手が不安などを感じているのが実情である。それを打開するために緩い回答を考えてはいるが、先が見えないというのが実情である。	
設計事務所（所長）	・いまだに民間の仕事がほとんどなく、役所の仕事も少なくなっていることから、先行きが非常に心配である。とにかく今は耐震改修の仕事を確保することで何とかしのいでいる。	
設計事務所（所長）	・いずれにしても仕事量は少ないなかでの過当競争ということで、景気は良くなるどころではない。	
住宅販売会社（従業員）	・見込み客が増えないため、受注獲得に苦勞し始めており、それはそのまま売上の減少につながっていく。	
悪くなる	商店街（代表者）	・石油関係のプラントがある工場地帯だが、全てにおいて削減している。
一般小売店〔家電〕（経営者）	・とにかく見込みが出てこない。太陽光発電などの話しても進まず、本当に客も沈滞している気がすごくする。	
一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	・当分の間は競合店の影響が続く。	
百貨店（店長）	・株価も含めて、東日本大震災前の生活防衛に入っているようである。	
スーパー（ネット宅配担当）	・中国問題の影響は確実に出ると思う。収入減、消費税増税等の先行き不安感から、更に消費は冷え込む。	
コンビニ（経営者）	・何の政策もなく、画期的な事が起こるとは思えない。このまま推移しそうである。	
コンビニ（経営者）	・政治が不安定なため、経済にも悪影響が広がっていると思う。	
家電量販店（店員）	・今後、状況が変わらず続くのであれば、今後も大手メーカーの経営不振が発生する可能性が極めて高くなる。	
その他小売〔生鮮魚介卸売〕（営業）	・1年で一番売行きが伸びていかなければならない時に、この落ち込みでは、年明けは相当厳しくなるはずである。	
一般レストラン（経営者）	・今月等の売上を見ていると本当に来客数が少なく、単価も低く、社会情勢が絶対何かおかしいような気がする。	

	一般レストラン（スタッフ）	・当店は老舗であるため、一応売上はしっかり上げているが、従業員が逃げたり、怒って帰ったり、いろいろなことがある。よく分からないが、毎日店に立っているといろいろ肌で感じるものがあり、何かこの世の中に閉塞感があって、違う方向にきており、悪くなっているようである。そのため、やはり、いろいろなことを政治家にもお願いしたい。また、当店は老舗であるため維持しているが、他店は更に大変だと思う。すぐに消えてしまう。借金を背負ってやめてしまうのだと思う。
	タクシー運転手	・政局の不安定な年の後半を迎えて先が真っ暗である。また、東日本大震災の復興が滞っているなど、一般消費の伸びも期待できそうもないため、景気は悪い方向で推移しそうである。
	ゴルフ場（従業員）	・政権争いはさらに激しくなる兆しで、景気回復は先が見えない。
	その他サービス〔保険代理店〕（経営者）	・政権交代があれば平成25年の始めには景気回復が期待でき、その結果ではやや良くなるが、このまま行けば確実に悪化する。
	住宅販売会社（経営者）	・今、政府が景気対策を後回しにして、政権争いに没頭している。このように国民不在の政府の下では、先の見通しは全く立たずに、ますますデフレ経済からの脱却は遠のくばかりであり、景気はますます悪くなる。
企業動向関連 (南関東)	良くなる やや良くなる	○ ○
	その他製造業〔化粧品〕（営業担当） 広告代理店（営業担当）	・夏まで好調だった販売量が持続している。この傾向が年末まで続く。 ・当社は、今までずっと低迷していたが、ここにきて多くの業種のクライアントで数字が稼げた。大きな話はないが、細かいものを積み上げての結果である。大きな数字はこの先ないが、細かい企業の宣伝費は、前に比べても出てきたようである。
	その他サービス業〔警備〕（経営者） その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者）	・レジャー産業の店舗が開店すれば、継続的な売上が見込める。 ・年末の需要で、一時的に少し良くなる。
	変わらない	・良さそうな傾向と悪くなりそうな傾向が混在していて、少し判断に困るような状況である。 ・今年は例年どおりの年末の盛り上がりがなく新年を迎えるのではないかと。 ・年末に向けて年賀状印刷の受注を受けているが、これは景気にかかわらず、個人がパソコンで作るため下り坂にはなっている。それよりも、以前は法人関係から特別にかなりの数が出るが多かったが、それがなくなってきており、非常に小出しの注文しかないなかで、個人の来店客が孫にあげるなどといった形で銀行印や実印などの需要が少しずつ増えてきている。相対的にはやはり変わらない。
	食品品製造業（経営者） 食品品製造業（経営者）	・例年であれば、年末年始に向けて協賛セールスの依頼があるのだが、今年はない。セールを行っても販売量が増える見込みがないとのことである。これでは良くなるとは思えない。
	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・新企画や、中国から回帰予定の案件が何件かあり、今後の展開によっては期待が持てる。
	化学工業（従業員）	・新規の取引先から難易度の高い部品加工の引き合いが少しある。受注できた時は売上高は維持できるが、スポットも多く全体的に仕事量は減ったままである。
	プラスチック製品製造業（経営者） 金属製品製造業（経営者）	・今までは1か月先位の受注しかなかったが、最近では2か月先の受注もあり、見積件数も少し多くなってきている。しかし、見積合わせのため単価が非常に厳しく、また納期が短いため、なかなか受注に結び付かない。
	金属製品製造業（経営者）	・今後は、極端に増えたり減ったりはない。ここにきて、得意先の話ではメイドインジャパンという、職人が作った品物が注目されていると耳にする。そのため、かなり景気が冷え込んだ時に、職人がいなくなったことが問題ではないかと思う。
	その他製造業〔鞆〕（経営者）	・年末に向けて見積依頼はない。来年度の補助金頼りの計画がないわけではないが、小さな営繕工事ばかりで寂しい年末を迎えそうである。
	建設業（経理担当） 建設業（営業担当）	・大手電機メーカーの業務縮小の影響により、定期的な顧客が設備投資を控え始めている。今後の変動により中止も考えて行動をしている。
	輸送業（経営者）	・これ以上悪くなるとは困るので、変わらないと答えたが、何としてでも、もう少し平均的に受注や仕事が出てくるように頼む以外はない。

輸送業（経営者）	・赤字国債発行法案が国会を通過し成立しないと、非常にお金の回りが悪くなり、市場の活性化が図れない。そのため景気は条件付きながら変わらないと見ている。	
輸送業（経営者）	・年末に向け取扱量の増加を期待したいが、近年の状況を見ていると、年末特需は期待できず、現在と大きな変化はない。	
通信業（広報担当）	・外需の低迷により、年内はほぼ横ばいで推移する見込みである。	
金融業（従業員）	・欧州の信用不安や対中関係の悪化、大手企業の経営不振など、先行き不安につながる材料が多い。多くの企業は、引き続き慎重な姿勢となっている。	
金融業（役員）	・消費マインドが低迷しており、少しばかり価格を下げてもどうにかなる問題ではなくなっている。将来に向けての明るい話題が少ない。医療、新素材等の成長が見込める分野に対する積極的なてこ入れが必要と考える。	
不動産業（従業員）	・土地売買は全般的には低調であるが、消費税率の引上げのためか、居住用地の問い合わせは増加している。	
不動産業（総務担当）	・新築ビルの供給過多の状況のなかで、賃貸ビル業界は当面、景気回復感は見られない。	
広告代理店（経営者）	・処理量が増える一方で受注額は上がらないため、業務処理効率が落ちており、3か月後はまだ見当がつかない。その意味で、変わらない。	
広告代理店（従業員）	・売上予想から見ると、前年と変わらず増減がない。	
広告代理店（従業員）	・売上は別として仕事量はそこそこあるため、それほど落ち込むことはない。	
社会保険労務士	・良くなるという要因が見当たらない。	
経営コンサルタント	・年末にかけて店舗等では売上増加を見込みたいが、良くなる材料が見当たらない。	
税理士	・アメリカの大統領でも変われば何かあるのだろうか。日本の政権が代わり、変化するのを待つのみなのか、政治も停滞し明るい材料は見当たらない。	
経営コンサルタント	・マスコミは毎日のように政治、経済の低迷を報じている。現実に中小企業は、業種を問わず、下期に入ってから業績が改善しない。こうしたことが家庭でも話題になるであろう。商店街の店主たちの話では、主婦たちの年末賞与への期待がしぼんできているという。家計消費の引締めは当面続くと考えられる。	
税理士	・北米での車の売上や日本製品の売上、中国からヨーロッパへの輸出が悪いため、日本から中国への輸出が落ちてる。また内的要因として、日本の政治が挙げられる。解散総選挙が行われれば、また内的要因でそこから大きな変革があり変わっていくかも知れないが、不透明である。	
その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	・先行きに対する懸念が依然として大きく、低迷状態がしばらく続きそうである。	
その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	・インターネット対応のマンションの普及に伴い、新たにグレードアップする物件の市場規模が小さくなったことから、他社との競合がさらに激しくなっていく。	
やや悪くなる	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・一時的な季節変動の反動により、3か月先は低下が見込まれる。
出版・印刷・同関連産業（所長）	・これから年末の繁忙時期に入るが、現状実績を下回る予測しか立っていない。さらに厳しい状況は続く。	
出版・印刷・同関連産業（総務担当）	・このまま、どの業界でも低価格での競争を強いられるようでは、今後の見通しなど立たない。	
一般機械器具製造業（経営者）	・受注量が大幅落ち込むようになり、そのため売上が減少してきたため、やや悪くなる。	
一般機械器具製造業（経営者）	・比較的、数の多いまとまったものが、外国へどんどん出て行っている。さらに、中国へ向けて輸出するものもびたっと止まり、注文ゼロということが先月や今月ずっと続いている。この状態でずっといくのではないかという話を客先からは聞いている。中国問題も落ち着かないと、品物が出ていくことがない気がする。	
電気機械器具製造業（経営者）	・政府が省エネ、節電と言いつつ商品がますます売れない。景気を良くするためにも早く原子力発電所を再稼働して、電力の不安を取り除いてもらいたい。	
電気機械器具製造業（経営者）	・経済対策で日銀が追加の金融緩和策を決定したが、全く経済のデフレ傾向の流れが変わらないため悪くなる。政局が暗転して政治経済活動が活発にならない限り期待できない。	
建設業（経営者）	・景気対策も一部の企業だけに報いて、中小零細企業は全く効果は見込めない。住宅も減税はしているものの、もっと思い切った減税対策をして欲しい。	
金融業（統括）	・中国関連の輸出産業が落ち込んでいるため、今後もさらにマイナスになりそうである。	

		金融業（渉外・預金担当）	・総じて先行き不透明感を強く持っており、払しょくするだけの材料や国の施策も見えないとの声が多く、士気も低下基調にある。
		金融業（支店長）	・物余り、金余りが続いている。個人消費や企業の設備投資が回復する兆しもない。政治にも期待できそうにない。
		金融業（支店長）	・客に受注状況の予測を聞くと、2、3か月先の仕事がないという声がかかり増えてきている。また、今、利子の延滞が増えていることや電気料金の値上げ等で、将来的に経費が負担になってくるという状況を鑑みると、やはり少し悪くなっていく。
		不動産業（経営者）	・空き室がなかなか埋まらないため大変である。
		経営コンサルタント	・大手製造業の輸出の陰りを、中小製造業がまともに受ける時期が近いと想定される。
		その他サービス業 [映像制作]（経営者）	・このまま政治が動かなければ、年末を迎えて融資を受けることも非常に厳しくなり、明るい要素が全くない。
	悪くなる	繊維工業（従業員）	・来年3月に期限切れを迎える中小企業金融円滑化法に替わる支援体制を早急に構築してもらわないと、デフレスパイラルのなかにある日本の中小零細製造業は、消費者の購買意欲が旺盛にならない限り売上は期待できず、身動きが取れない。
		金属製品製造業（経営者）	・海外向け輸出がストップしていることから、景気が良くなるとは考えられない。
		精密機械器具製造業（経営者）	・輸出の部分で中国への依存が大きいため、非常に危険である。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・半年くらいトラックはまあまあ良かった。周りは悪いのに何でトラックが良いのかと思っていたが、やはりここにきて、欧州の信用不安、アメリカも景気が良くない、そこへ今度は中国が絡み、世界中の経済が皆減速しているなかで、デフレ状態である。そのため物を作っても余っている状態である。先月、今年は大丈夫だろうと話していたが、半ばからブレーキがかかったように減速して、材料が動かなくなった。これで今年はまだ浮上することがないのではないかとというくらい急ブレーキである。
		建設業（経営者）	・一時は消費税増税前の駆け込み需要があるかもしれないが、その後2段階で足止めされるのが痛い。
		建設業（経営者）	・国の政策が何も実行されていないためである。
		輸送業（総務担当）	・国内出荷は東北方面の荷物が増え始めてきたが、東北方面から首都圏へ来る車両台数が少ないことと、荷主の運賃が低すぎるため、東北方面への車両が集まらない。自社便を仕立てるが、往路便だけでは採算がとれず、元請けとして赤字で運行している。
		その他サービス業 [ソフト開発]（経営者）	・不景気のため、世の中が全体的に暗くなっている。
		その他サービス業 [ビルメンテナンス]（経営者）	・元請け企業の内製化により、12月末日で大型物件の解約がある。
雇用 関連 (南関東)	良くなる やや良くなる	—	—
		人材派遣会社（営業担当）	・既存事業からはみ出して新規事業、新規商材を展開する事例を見るようになったが、そのビジネスが拡大するようであれば、景気回復にも寄与する。
		人材派遣会社（支店長）	・年内に政権が変わることが前提だが、少なくとも株価、円高の改善になると思う。
		新聞社 [求人広告]（担当者）	・11、12月というのは例年求人が極端に減少する傾向にあり、何とかそれを食い止めるため、細かく小さいものを拾うことに専念する。年明け1月は、例年少し増えるため、何とか切り抜ける。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・製造業は中国からの撤退、国内では生産等の継ぎ手の見極めの悪さで良くなる見通しはないという人が多い。
		人材派遣会社（社員）	・物流業など年末に向けてスポット的な求人は増えるが、事業拡大による増員など長期的な求人依頼は増えそうにない。
		人材派遣会社（支店長）	・状況が好転する材料が見当たらない。
		人材派遣会社（営業担当）	・終了になった人員の欠員補充としての採用が続いており、しばらく増員がない。今後好転するような材料が見当たらない。
		人材派遣会社（営業担当）	・求人数は若干ではあるが、増加傾向で推移している。しかし、募集条件面も高くなっており、採用数が比例して増加していないため、数か月先も大きな状況変化はない。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・政治の停滞がかなり影響している。人材採用市場は中途を除き、動きが少ない。先の見通しが立てにくいため、採用をちゅうちょしている。

	求人情報誌製作会社 (営業担当)	・求人数の動きに変化は感じられない。
	求人情報誌製作会社 (営業担当)	・年末に向けての動きが分からない。10月に大型商業施設がリニューアルオープンしたが、事前の地元求人案件もほとんどなかった。悪い状態のまま年を越すような予感がする。
	求人情報誌製作会社 (営業担当)	・月ごとの変動が大きく、上向き、下向きの判断がつきにくく、先が読めない。
	職業安定所 (所長)	・有効求人倍率が1倍を前に、頭打ちとなっている。すぐには悪くなるとは思えないが、政治や海外、特に中国情勢等から、先行きへの不安は拭えない。
	職業安定所 (職員)	・新規求職者は減っている。求人は増えているようだったが前年に比べ、やはり同水準の状態である。特に製造業が同水準である。求職者が減り求人もそのような形だが、マッチングがいないということはやはり景気が少なくとも上向きにはなっていない。
	職業安定所 (職員)	・中小零細企業では、経済動向の様子見しながら、採用に消極的な企業も多い。
	職業安定所 (職員)	・周囲の状況に変化がないためである。
	職業安定所 (職員)	・新規求人数は前年同月比で10%以上増加が見込まれる。ただし、パートタイマーや契約社員、派遣等、非正規雇用の求人増加であるため、求職者にとっては厳しい状況が続いている。
	民間職業紹介機関 (経営者)	・良くなる要素が見えない。
	民間職業紹介機関 (経営者)	・経済対策次第では改善すると思うが、現在の国内外の政治の状況から判断すると、適切な対策が出るとは思えない。そのため、採用関連でも従来からの海外で活動ができる人材、新技術開発に貢献できる人材が求められている。
	民間職業紹介機関 (職員)	・現時点において、求人数などに変化はないが、半年以上先となると、不透明感はある。
	民間職業紹介機関 (職員)	・内需は順調だが、外需が厳しくなっており、メーカー系企業の採用実績が前年比で伸びていない。円安が進んでいけば、まだしばらくは持ちこたえるが、来年に入ると厳しくなる可能性がある。
	学校 [専修学校] (就職担当)	・定期的な採用計画の状況などを企業側へ確認しているが、前年と比べ今後、採用人数の予定に大幅な変化は見られない。
やや悪くなる	求人情報誌製作会社 (広報担当)	・取引先のヨーロッパの企業や、日本のメーカーの業績悪化のあおりを受けて、景気は悪くなっていく。
	職業安定所 (職員)	・10月末日付の希望退職募集による離職予定も増加しており、求職者数が前年比増加に転じる懸念もある。
	学校 [短期大学] (就職担当)	・政府が景気回復策を何も打ち出していないことや、景気が沈滞している雰囲気漂っている。新卒の雇用に関してはハローワークの支援等も利用しているが、マッチングし、就職内定まではなかなか至っていない。
悪くなる	—	—